

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

地理歴史科 「世界史研究（3年普通科特進選抜文コース）」	単位数	6単位	学科	普通科
	学年	3	組	G

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
-------	--

育成する資質能力	「思考力」「判断力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」 「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評価の 内容	- 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているか。 - 諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。	- 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察しているか。 - 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができたか。	- 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うことができたか。 - 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができたか。
評価 方法	- 定期考査 - 準拠ノート - ワークシート	- 定期考査（資料読解・論述問題） - 準拠ノート - ワークシート	- 討論や発表 - 準拠ノート - ワークシートなど - 課題提出・授業態度など
配分	70%	20%	10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、 他教科との関連など）
第 1 学 期	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 1 ルネサンス	【第11章】 ①ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解します。 ②ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。	①中間考査 ②期末考査

		③多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解します。	
	2 宗教改革	①それまでの教会改革の試みと 16 世紀の宗教改革の違いを，多面的・多角的に考察し表現します。 ②カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解します。 ③カトリック改革が持つ世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現します。	
	3 主権国家体制の成立	①主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現します。 ②16 世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解します。 ③アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解します。	
	4 オランダ・イギリス・フランスの台頭	①17 世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現します。 ②17 世紀における 2 つのイギリスの革命について，国際的な状況もふまえて理解します。 ③近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現します。 ④イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解します。	
	5 北欧・東欧の動向	①主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解します。 ②ロシアが主権国家体制に参入していった経緯を理解します。 ③プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現します。 ④啓蒙専制主義の特徴を理解します。	

	③中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現します。	
第 13 章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	【第 13 章】 ①ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解します。 ②ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③19 世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解します。 ④イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれぞれ比較したうえで理解します。 ⑤1848 年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現します。	
1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動		
2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成	①クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解します。 ②19 世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解します。 ③ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解します。 ④ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現します。 ⑤北欧諸国の安定性について、周辺諸国と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現します。 ⑥19 世紀後半にさまざまな国際運動が進展した背景を理解します。	
3 アメリカ合衆国の発展	①領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ②南北戦争において北部が勝利した要因を理解します。	

	4 19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 第 14 章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	③アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現します。 ①19 世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移を理解します。 ②国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し表現します。 ③近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解します。 ④大都市文化が都市の景観に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 【第 14 章】 ①オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現します。 ②オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解します。 ③オスマン帝国の改革の成果と課題を理解します。 ④ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ①ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解します。 ②イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現します。 ③東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解します。 ④東南アジアの植民地化の経緯を理解します。 ⑤タイが植民地化されなかった要因を多面的・多角的に考察し表現します。 ①清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現します。	
--	--	---	--

第 15 章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第 2 次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	②中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解します。 ③清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解します。 ④東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を理解します。 ⑤欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 【第 15 章】 ①新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解します。 ②帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現します。 ③各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解します。 ④この時期に国際労働運動が再燃した背景とその特徴を多面的・多角的に考察し表現します。 ①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現します。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解します。 ③独立後のブラジル・アルゼンチン・メキシコがたどった道を比較し、共通点と相違点を理解します。 ④20 世紀初頭における列強体制の枠組み変化を多面的・多角的に考察し表現します。 ①日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ②改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解します。	
--	--	--

		③インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現します。 ④東南アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解します。 ⑤西アジア各地における民族運動の共通点を理解します。	
第2学期	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	【第16章】 ①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解します。 ②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現します。 ③戦時外交および総力戦の特徴を理解します。 ④第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ⑤ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現します。 ①第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解します。 ②西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現します。 ③国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解します。 ④イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表現します。 ⑤東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解します。 ⑥1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解します。 ①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ②日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現します。	③中間考査 ④期末考査

	③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解します。 ④第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解します。 ⑤第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解します。	
第 17 章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【第 17 章】	
1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ②ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解します。 ③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解します。 ④ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解します。 ⑤日本と中国が全面戦争へいたった背景を多面的・多角的に考察し表現します。 ⑥ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解します。	
2 第二次世界大戦	①開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現します。 ②ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解します。 ③独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ④第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解します。 ⑤第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現します。	
3 新しい国際秩序の形成	①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解します。 ②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解します。	

	③国民党が共産党に敗れた原因を多面的・多角的に考察し表現します。 ④朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ⑤東南アジアおよび南アジアの独立の背景や経緯を理解します。 ⑥現代の中東問題の要因を多面的・多角的に考察し表現します。	
第 18 章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開	【第 18 章】 ①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解します。 ②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解します。 ④スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現します。	
2 第三世界の台頭とキューバ危機	①自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解します。 ②アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解します。 ③キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ④国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を理解します。	
3 冷戦体制の動揺	①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解します。 ②1960 年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現します。 ③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解します。 ④ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解します。	

	⑤第三世界における開発独裁の特徴を多面的・多角的に考察し表現します。 【第 19 章】 ①経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化を多面的・多角的に考察し表現します。 ②1970 年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解します。 ③オイル=ショックが各国の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ④1960～1970 年代の中東における変容の経緯を理解します。 ⑤1970～1980 年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解します。 ①1970 年代後半から 80 年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解します。 ②ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現します。 ③東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解します。 ④ゴルバチョフの改革が挫折した原因を多面的・多角的に考察し表現します。 ①旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解します。 ②冷戦終結後の東アジア諸国の変化を多面的・多角的に考察し表現します。 ③今日の東南アジア・南アジア諸国においていかなる政治的・経済的变化が生じているのかを理解します。 ④冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を多面的・多角的に考察し表現します。 ⑤冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解します。	
---	---	---

	4 現代文明の諸相	⑥経済における世界の一体化の経緯を理解します。 ⑦21 世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解します。 ⑧今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現します。 ①20 世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。 ②現代思想・文化における新しい潮流の内容を理解します。 ③両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解します。	
第 3 学期	なし	なし	なし

使用教科書	山川出版社「詳説世界史（世界史探究）」
副教材	第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」 啓隆社 「世界史重要語句 Check List」 山川出版社「世界史用語集」 山川出版社「授業用詳説世界史整理ノート」 山川出版社「世界史総合テスト」

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	①授業を「集中」して受けることが大切です。特に部活に加入している生徒は、勉強時間を確保しにくいと思います。授業ですべてを理解する気持ちで臨んでください。 ②板書以外にも自分が気づいたことや考えたこと、先生や他の生徒の意見を記入するなど「ノート」のとり方を工夫してください。 ③授業で学習したことをもとにして、「新聞」（特に国際面）を読んでください。基礎・基本問題は『世界史重要語句 Check List』を使用して定着させ、問題集を活用して実力向上をはかりましょう。「基礎・基本」を2～3回繰り返し解き、内容が理解できたら「応用・実践問題」にもチャレンジしてください。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	①授業ノート・『最新世界史図表』・『世界史用語集』を必ず持参し、活用しながら授業を受けてください。 ②生徒と教師・生徒と生徒の「対話」がある授業（発言の多い授業）は、たいへん楽しいのです。正誤を気にする必要はありませんので、積極的な発言を期待します。 集中とリラックスするなど、授業にメリハリをつけてのぞんでください。
その他のアドバイス	①世界史の学習は、細かい年号や人物名、事件名などを暗記することだけではありません。基本的事項をきちんと暗記・理解しながら、歴史的出来事に「どのような背景があるのか」「わ

	が国とどのような関わりをもっているのか」「世界の中でどのように位置付けられているか」を意識して勉強してください。 ②歴史を様々な角度から捉えるように意識してください。 ③授業内容と大学入試の内容は、かけ離れたものではありません。大学入試に対応できるような学力を身につけつつ、世界史を学ぶ楽しさを感じてください。 ④世界史に関するＴＶ番組・ＤＶＤを観たり、図書館・博物館・企画展等へ行くことにより、歴史への興味・関心が高まります。是非足を運んでみてください。
--	--